



高野

たかのの



国 国道381号から若井大橋を渡る。そこから国道56号・峰ノ上に向かって、若井地区の田畑を縫うように行く。JR・土佐くろしお鉄道の線路をくぐると間もなく高野の集落である。山間に入っただけの感はあるが、山が迫っていることも無く、空が広い。

この高野地区には現在29世帯、約60人が暮らしている。高齢率はやはり高い。3年前に休校となった若井川小学校の校区だったそうだが、その若井川小学校のことで面白いことを聞いた。旧窪川町は、もともと町内の小学校はすべて各自弁当持参で給食制度はなかった。そんな中、県から「給食導入の希望の有無」が各小学校に打診されたときに、町内で唯一、導入希望でまとまったのが若井川小学校であった。それにより、昭和36年から若井川小学校だけが窪川地区では給食制で、しかも、1校だけの給食だったので、食育の分野ではその教育的効果から理想とされる自校式。3時間目の終わり頃になると「おばちゃん、今日は何か？」「今日は肉じゃがよー！」そんな、調理担当の「おばちゃん」と児童たちとの食を通じた交流は、まさに理想的な食育のかたちであった。

ところで、この地区には今も伝承されている面白い風習がある。



女性だけのお祭りが行われるお堂



町指定天然記念物の大杉

地区内に小さなお堂があり、観音様が安置されているのだが、そのお堂の本山にあたるという寺野地区のお寺まで、毎年3月18日になると地区の女性たち（現在は当番の4人）でお参りに行く。寺には、無事出産のお礼として赤ちゃんの名前などが記された「よだれかけ」が奉納されている。地区内はもちろん、地区にゆかりのある女性の中に妊婦さんがいる場合、この「よだれかけ」をいただいて帰り、無事出産を終えるとまた新たな「赤ちゃんの名前が記されたよだれかけ」を奉納しに行くのだという。そして地区に帰ってくると、お堂の掃除をして、ささやかな「女性だけの昼食会」が催される。3月は、3日のひな祭り、18日の2回、「女性の祭り」がある。

さて、氏神様は檜原神社。境内には推定樹齢500年の町指定天然記念物である杉の巨木が真っすぐにそびえている。見事な大杉である。

| 町のうごき | (12月31日) | | 前月比 | | 出生 死亡 転入 転出 | | | | 適正值(mg/l) | | 1月14日 | | | |
|-------|----------|-------|-----|-----|-------------|---|----|----|-----------|---------|-------|--------|-------|-------|
| | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | リン酸 | 硝酸 | 測定値以下 | | | |
| | 計 | 世帯数 | 計 | 計 | 計 | 計 | 計 | 計 | アンモニウム | アニオン活性剤 | 測定値以下 | | | |
| | 8,855 | 9,977 | -8 | -20 | 4 | 3 | 15 | 21 | 13 | 11 | 13 | ≤ 5.0 | ≤ 0.5 | 測定値以下 |
| | 18,832 | 8,760 | -28 | -6 | 7 | 計 | 36 | 24 | 23 | 24 | 23 | ≤ 5.0 | ≤ 1.0 | 測定値以下 |
| | | | | | | | | | | | | ≤ 10.0 | 2.410 | 測定値以下 |

化学的酸素消費量

調査：大正（吾川）
資料：四万十高校自然環境部

● 四万十町ホームページアドレス <http://www.town.shimanto.lg.jp/> ●

※ 広報「四万十町通信」はホームページでも、ご覧いただけます。(pdfファイル)